

2026年秋期

(学習支援員)

# 特別支援教育支援員

# 養成講座 《募集要項》

定員

25名

2026. **9.6** (日) ~ **11.8** (日)  
10:00~12:00 / 13:30~15:30

7日間 / 全14講座

会場

ウィルあいち (特別会議室・会議室5)

〒461-0016愛知県名古屋市東区上豎杉町1番地

講座内容について別紙参照

全日程受講

受講条件

公開講座受講

各講座

5~10席

- ① 発達障害について多角的に学び、子どもの支援に役立てたい方  
(保護者、支援員、教員、保育士や支援に携わりたい方など  
地域の制限はありません)
- ② 受講中に知りえた「個人情報の秘密保持」について誓約出来ること
- ③ 受講料26,000円を前納すること

- ✓ 申し込みについて受講条件は無く、どなたでも受講できます。
- ✓ QRコード・メール (次のページ) にて先着順に受け付けます。(1講座2,500円)
- ✓ 講座番号/講座日/講座名/住所/氏名/電話番号/メールアドレス/職業を明記し、公開講座受講希望としてお申し込みください。(※1)

※1 公開講座のみ受講される方は、申し込み受付後、振込口座等改めてお知らせします。

## <2026年秋期養成講座について>

当協会では、名古屋市の制度に先駆けて、2010年春から「支援員養成講座」を開講し、発達障害のある子どもたちを支援できる人材の育成に取り組んできました。

2025年秋までに31回の講座を実施し、約1,030名の修了生が現場で活躍しています。

第1回講座では、文部科学省特別支援教育調査官の樋口一宗先生、名古屋市教育センターの藤本康孝先生にご登壇いただき、講座の基盤を築いていただきました。

また、名古屋市に「発達障害対応支援員制度」が創設される前年には、制度がない中で、第1期修了生13名「学習支援ボランティア」として受け入れてくださった名古屋市立植田東小学校初代校長:矢野博明先生のご尽力がありました。その後も修了生を受け入れてくださる植田東小を筆頭に、校長先生方の輪が広がり、「学習支援ボランティア」は現在も名古屋市の制度とは別に市内の幼稚園や小学校で活動を続けています。

本講座では、自閉スペクトラム症、ADHD、限局性学習症などの発達障害の特性を理解し、早期発見・早期支援によって二次障害を防ぐ視点を学びます。さらに、学校の指導方針を理解し、先生方の指示のもとで適切に支援できる力を身につけます。子どもが何に困っているのか、その背景を見極め、適切な支援につなげられる支援員を育成するため、地域の専門家の先生方と共に学び合う講座として発展してきました。

昨年度より、「発達障害対応支援士」の認定資格の授与も開始いたしました。学校現場で働く支援員の方だけでなく、子どもたちの支援に関わるお仕事をしている皆さま、そしてお子さんの特性について正しい知識と支援方法を学びたい保護者の方にもご参加いただいています。

広く皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

## 申込み方法

8月22日（土）までに、右QRコードより、  
もしくは「受講申込書」に必要事項を記入の上、  
2026年秋期特別支援教育支援員養成講座受講希望として、  
メール・郵送にて下記へお申し込みください。（※2）



※2 全日程受講決定者には8月24日までにメールにてお知らせします。  
受講決定通知後、1週間以内に受講料を銀行振り込みにて全額納付ください。

## 申込み先

〒466-0014 名古屋市昭和区東畑町1-41-4  
NPO法人ディスレクシア協会名古屋  
2026年秋期特別支援教育支援員養成講座担当  
E-mail: ysien@dyslexia-nagoya.org

お申込みはこちらから

返信等、全てこのアドレスを使用しますので、受信出来るよう設定変更をお願いします。

## 発達障害対応支援士について

認定条件：7日間14講座全て受講・レポート提出のこと

（やむを得ず欠席する場合は、次期開催の講座を受講・レポート提出で認定）



## 講座内容 / 日程

午前：10:00～12:00  
午後：13:30～15:30

★ 公開講座（募集要項参照）  
実施会場：会議室5（9月6日のみ特別会議室）

- |    |          |   |                |
|----|----------|---|----------------|
| 1  | 9/6（日）   | オリエンテーション                                   | ディスレクシア協会名古屋   |
| 2  |          | ★ チーム学校としての支援員の役割                           | 矢野博明           |
| 3  | 9/13（日）  | ★ 行動療法の基礎と実際                                | 坂井誠            |
| 4  |          | ★ 発達障害の子どもの家庭や学校での姿と支援                      | 西出弓枝           |
| 5  | 9/27（日）  | ★ 発達障がい難しさ・基本姿勢・<br>ちよっぴりABA                | 華山将            |
| 6  |          | ★ 読書バリアフリーとICT                              | 相羽大輔           |
| 7  | 10/4（日）  | ★ 学校不適應（不登校、いじめ等）問題は、<br>かかわりの力の乏しさ、弱さに起因する | 曾山和彦           |
| 8  |          | ★ 子どもの人権と発達障害<br>子どもとつながるサンライズプログラムとは？      | 岩城正光<br>ドーマン朋子 |
| 9  | 10/18（日） | ★ 感覚統合の発達と作業療法                              | 水科順子           |
| 10 |          | ★ 学校現場でのABA                                 | 竹島浩司           |
| 11 | 10/25（日） | ★ 発達障害の多様な状態像と学校との関わり                       | 早川星朗           |
| 12 |          | ★ DD（発達性読み書き障害）疑似体験                         | ディスレクシア協会名古屋   |
| 13 | 11/8（日）  | 教室の場面でのロールプレイ                               | ディスレクシア協会名古屋   |
| 14 |          | 修了式   | ディスレクシア協会名古屋   |

# 講師紹介

2 9/6 (日)



矢野 博明

名古屋市統合保育スーパーバイザー  
臨床心理士・公認心理師

## 「チーム学校としての支援員の役割」

支援員を導入するきっかけ、学校現場での受け入れの手順及び教職員の反応等を具体的にお話しする中で「チーム学校としての支援員の役割」をご一緒に考えていきたいと思います。さらに、「今後、支援員に期待すること」として学校現場の立場から私なりの考えをお伝えさせていただきます。当講座では、グループワークを取り入れながら、ご出席の皆様方のご意見を伺いながら、進めていきたいと思いますのでご協力の程、よろしくお願いいたします。

名古屋市立小学校教諭、名古屋市教育センター教育相談部指導主事、名古屋市教育支援センター教育相談部長、名古屋市教育委員会事務局主任指導主事（特別支援教育担当）、名古屋市立小学校・特別支援学校校長として勤務。現在スクールカウンセラーとして福島県南相馬市立の小中学校にて活動中。

3 9/13 (日)



坂井 誠

ここケアセンター顧問  
医学博士・臨床心理士  
公認心理師・専門行動療法士

## 「行動療法の基礎と実際」

行動療法・認知行動療法はエビデンスベースの世界標準の治療法・支援法です。講義では、発達障害児の支援に必要な応用行動分析を中心に、行動療法の基礎と実際を具体的にお話しします。なぜ行動なのか、機能分析のABC、刺激の制御、構造化、上手な指示の出し方、上手なほめ方、好ましい行動の強化、問題行動への対処法などについての学びを深めていきましょう。

佐賀医科大学技官・助手、愛知教育大学助教授・教授、中京大学心理学部教授を経て、現在ここケアセンター顧問。不安、うつ、発達障害、ストレス、マインドフルネスの認知行動療法に関する臨床実践と研究を専門とする。一般社団法人日本認知・行動療法学会元理事長。

4 9/13 (日)



西出 弓枝

椋山女学園大学・人間関係学部教授

## 「発達障害の子どもの家庭や学校での姿と支援」

発達障害のあるお子さんの家庭や学校での姿について、特性との関連から紹介した上で、具体的な支援策・学校との連携において実現できる合理的配慮などについて紹介します。同じような言葉で表現される現象・困り感と障害による特性との関連についても検討したいと思います。

<職歴>

平成10年4月三重大学教育学部助教授  
平成18年4月椋山女学園大学人間関係学部助教授  
平成24年4月椋山女学園大学人間関係学部教授

<活動歴>

平成5年4月：名古屋市障害児保育巡回指導員  
平成19年4月：稲沢市特別支援教育サポートアドバイザー  
平成27年4月：名古屋市保育指導委員会委員 など

5 9/27 (日)



華山 将

NPO法人発達・心理相談センター  
「ゆうこうの家」副代表

## 「発達障害の難しさ・基本姿勢・ちょっぴりABA」

発達障害の難しさや基本姿勢について経験に基づく具体的なお話をします。また、基本姿勢の1つであるスモールステップについて、ゲーム感覚で体験的に学んでいただきます。残った時間で、これまでの学校訪問の経験から、支援員さんに向けたアドバイスをABA（応用行動分析）の視点を交えてお伝えします。

<経歴>

2005年～表山クリニック  
2007年～NPO法人発達・心理相談センター「ゆうこうの家」  
名古屋市スクールカウンセラー（2024年度で終了）  
2010年～名古屋市教育支援センターセラピスト  
2017年～名古屋市特別支援教育アドバイザー

<取得資格>

臨床心理士、公認心理師、特別支援教育士  
（SENS）、自閉症スペクトラム支援士  
（STANDARD）

6 9/27 (日)



相羽 大輔

愛知教育大学 特別支援教育講座准教授

## 「読書バリアフリーとICT」

専門である視覚障害教育・心理学の実践経験に基づき、名古屋市読書バリアフリー推進計画（第1次）の策定に携った立場から、読書バリアフリーの最新の動向を紹介します。学校で使われる教科書等の教材、テスト・プリント等の副教材、その他、一般図書にアクセスするための方法を、視覚障害教育の視点から例示し、ディスレクシア児への応用の可能性について考えていただきます。

2013年筑波大学院人間総合科学研究科障害科学専攻を修了、博士（障害科学）を取得。2013年から慶應義塾大学自然科学研究教育センターの特任助教として、教科書デジタルデータの活用可能性について、特別支援学校（視覚障害）での実証研究に従事。2014年より愛知教育大学特別支援教育講座で盲学校の教員養成に従事。愛知県では、名古屋市読書バリアフリー推進計画（第1次）の策定に関わる。

7 10/4 (日)



曾山 和彦

かかわりプログラムSimple代表  
博士（社会福祉学）  
上級教育カウンセラー

## 「学校不適応（不登校、いじめ等）問題は、 かかわりの力の乏しさ、弱さに起因する」

40年間の教育・研究実践を経て、このように考える私は、プロアクティブ（先手型）生徒指導の具体方策として「スリンプル・プログラム」を開発・提唱し、全国各地の学校と共に実践を展開しています。「子どものかかわりの力が豊かに育つことで学校は幸せになる」というエビデンス（証拠）を示しながら、スリンプルの実際を紹介します。

群馬県桐生市出身。東京学芸大学卒業、秋田大学大学院修士課程修了、中部学院大学大学院博士課程修了。東京都、秋田県の養護学校教諭、秋田県教育委員会指導主事・管理主事、名城大学准教授・教授を経て、現在に至る。著書に「誰でもできる！中1ギャップ解消法」（教育開発研究所）、「超多忙でも実践できる！スリンプル（スリム&シンプル）・プログラム 週1回10分の『○○タイム』で『かかわりの力』を育てる」（ほんの森出版）ほか多数。

8 10/4 (日)



岩城 正光  
CAPNA 理事長  
J-CAPTA (CAP活動) 監事

## 「子どもの人権と発達障害」

講座の内容

1. 人権と権利の違い
2. 子どもの人権とは
3. 子どもの権利条約について (子どもの権利主体性)
4. 「子ども期」の重要性について
5. 発達障害に対する「合理的配慮」と子どもの人権
6. アドボカシーと子どもの人権

1988年愛知県弁護士会に登録。

1995年から子どもの虐待防止の市民活動 (CAPNA) とともに、家族問題やDV、少年事件を専門とする弁護士活動を展開。家庭支援のあり方、子どもの自立支援など、対人援助に向けた司法福祉をライフワークにしている。平成25年6月から平成28年5月まで名古屋市副市長に就任し、子ども人権教育 (とりわけインクルーシブ教育) や障害者の人権・福祉施策に取り組む。

8 10/4 (日)



ドーマン 朋子

## 「子どもとつながるサンライズプログラムとは？」

子どもへの受け入れ、理解と尊重からつくる関係性と遊びをベースとしたアプローチとは？  
～Team Lenny の事例を通じて考える～

愛知県出身。大学卒業後、日英通訳者として主にJICA国内研修に従事。出産後、ハワイ在住時に2歳の息子が自閉症の診断。早期介入支援を受ける中、子どもへの愛と受け入れ、理解、尊重を軸としたおうち療育を学ぶ。帰国後 Team Lenny を立ち上げ、自宅で支援開始。2017年からは知多市のNPO法人TOKOTOKOの小規模保育園と児童発達支援センターでスタッフ研修に従事。現在ペアトレ作成プロジェクトに参加中。

9 10/18 (日)



水科 順子

東部地域療育センターほけっと

## 「感覚統合の発達と作業療法」

感覚の発達に特性があるお子さんや発達性協調運動障害のあるお子さんの行動や運動を理解し、支援していくための視点として、感覚統合の理論と作業療法について学びます。

名古屋大学医療技術短期大学部作業療法学科卒  
日本感覚統合学会認定セラピスト、インストラクター

10 10/18 (日)



竹島 浩司

株式会社エルチェ最高臨床責任者

## 「学校現場でのABA」

ASD児童生徒の特徴について、診断基準に基づいた特徴と、教育をする上で重要となる特徴について、両方の視点から説明します。また行動の原理の基本を紹介し、学校教育において活用する注意点や特徴を説明します。行動の原理を使って、児童生徒の行動と先生や指導員の行う教育や支援との関係について分析し、支援員への具体的なアドバイスも紹介します。

東京学芸大学卒業後、米国ウェスタンミシガン大学心理学部 (ABA) において、博士号取得。北米認定の応用行動分析士 (BCBA-D) の資格を持ち、カリフォルニア州でASD児童生徒の学校長や公立学校での早期療育センターの監督者としての勤務経験あり。2013年より名古屋で療育を始め、現在は株式会社エルチェの最高臨床責任者を務めると共に、愛知教育大学講師、他にも学校へのコンサルテーションなども行う。

11 10/25 (日)



早川 星朗

ほからか星☆  
親と子の発達クリニック院長

## 「発達障害の多様な状態像と学校との関わり」

発達障害には自閉スペクトラム症 (ASD)、注意欠如・多動症 (AD/HD)、限局性学習症 (SLD)、感覚の過敏・鈍麻などが同時に合併することもあり、おひとりおひとり状態が異なります。

多角的に評価を行い、強みをいかした支援を一緒に考えましょう。また、それに基づいて学校の先生とどのように関わっていくのがよいかもお話します。

愛知県一宮市生まれ。岐阜大学医学部卒。一人ずつの評価に基づいてお子さんの強みを生かした具体的な助言を行なっています。また、支援ツールやプログラムを多数紹介し、実演してお伝えしています。当院では、自ら保育園、幼稚園、学校、職場へと出掛けていく訪問コンサルテーションを開始する予定です。病氣や怪我にみまわれながら、研修医時代まで、Jリーグに三度挑戦するも不合格。長男は自閉症。自身はAD/HD。

## 会員募集

NPO法人ディスレクシア協会名古屋では、会員を募集しています。ともに学び、啓蒙啓発をしている「親と支援者の会」です。

年会費は、正会員6千円・賛助会員3千円です。

詳しくは、ホームページをご覧ください。各種講演会・勉強会のご案内を掲載しています。

## 疑似体験出張講座のご案内

### ★『DD (発達性読み書き障害) 疑似体験』

発達性読み書き障害の症状・起因・支援方法などを疑似体験を通して学びます。

### ★『あなたの脳のタイプがわかります』

～認知特性を知り自分の良いところを活用して学習や仕事に役立てましょう～

学校の勉強では測れない優れた能力が誰にでもあります。

それを明らかにして、明日の学習やお仕事に役立てられるといいですね。

ご希望の方は、ホームページ (右側のQRコード) からお問い合わせください。

🏠 ホームページ



👉 お問い合わせ・  
お申込みは  
こちらから

📷 インスタグラム



社会福祉法人  
朝日新聞厚生文化事業団

この養成講座は社会福祉法人朝日新聞厚生事業団「発達障がいとともに生きる豊かな地域生活応援成」を一部活用しています

## 2026年秋期 特別支援教育支援員（学習支援員）養成講座受講申込書

申込年月日          年          月          日

ふりがな			
氏名			
住所	〒          ー		
電話	(          )	E-Mail	
生年月日	年          月          日	年齢	歳
健康状態			
学歴・職歴 及び資格			
現況（職業等）			
<b>受講希望の理由</b>  (400字以上 800字程度) ※ スペースが 不足する場合は 別紙添付可			
<b>受講中に知れた個人情報について守秘義務を守ることについての誓約</b>	する	しない	

※本申込書の記載内容について確認させていただく場合があります。  
また、本申込書に記載された個人情報は、特別支援教育支援員養成講座の業務連絡  
及びNPO法人ディスレクシア協会名古屋が実施する関連事業の案内に使用いたします。